

令和5年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

静岡県

行事名称	第70回文化財防火デー「特別史跡 新居関跡」防火訓練
実施期間・日時	令和6年1月26日 10:30~11:00
実施場所	特別史跡 新居関跡（静岡県湖西市新居町新居 1227-5）
主催者	湖西市教育委員会

■実施内容

訓練の想定

関所建物（面番所）北側で失火により火災が発生。北東からの風により関所建物に延焼する恐れがあり、火元から50m離れた関所内消火栓とポンプ車による消火が必要となると想定。

訓練の内容

関所職員による火災発見、通報、避難誘導。関所史料館職員と関所防火協力隊による初期消火（消火器）。自主消防団、防災会による消火栓の放水・消防署員によるポンプ車からの放水。

参加者及び役割分担

- ・関所防火協力隊（10名）：水消火器による初期消火
- ・泉町自主防災会（4名）：屋外消火栓による放水
- ・湖西市消防本部・南分署職員（9名）：消防車による放水
- ・湖西市消防団第10分団（5名）：屋外消火栓による放水
- ・関所史料館職員（シルバー、新居宿史跡案内の会含む）（11名）：火災発見、避難誘導、119番通報、水消火器による初期消火
- ・湖西市職員（5名）：水消火器による初期消火、屋外消火栓による放水
- ・防災設備業者（2名）：自動火災報知機操作
- ・報道（1名）

特に工夫した点

- ・国指定特別史跡新居関跡への延焼を防ぐために、各々が役割をもち周囲の状況確認も行いながら訓練を行った。

問題点・課題

- ・参加した地域住民の高齢化により、緊急な状況でどれだけ動けるのか、消火体制の今後に不安がある。
- ・構内が広くなったことで、緊急放送が構内全体に行き届きにくくなった。

その他

毎年文化財防火デーに地域住民と合同で火災訓練を行うことで、地域住民へ関所の重要性や文化財愛護の意識を啓発する良い機会となっており、来年度以降も継続して実施していくことが重要である。

訓練風景



